



青葉旬う

四日市市立
港中学校だより

令和6年3月8日 No.18 発行：校長

先月は2月なのに大変暖かい日があったと思えば、3月に入って、朝、雪が舞うような寒い日がありました。それでも木々の芽のふくらみの様子から、季節は確実に冬から春へとかわっているようです。春には陽気なイメージがありますし、私などは呑気に暖かくなることを喜んでいます。花粉症のある方々には辛い季節です。季節の変わり目は自律神経にも影響があるようですので、体調管理をしっかり行いたいと思います。



昨日、第75回卒業生たちが本校を巣立ちました。これで本校の卒業生数は13,677名となりました。それぞれの場所で元気に活躍してくれることを願っています。

第75回港中学校卒業証書授与式 3月7日（木）

今年の卒業式は、豊田四日市市教育委員様をはじめ、子どもたちのために日頃よりお力添えをいただいている地域の代表の方々をお迎えし、保護者の皆様、全校生徒、教職員、皆で卒業を祝うことができました。



式では、卒業生が一人一人堂々とした態度で校長から卒業証書を受け取り、在校生代表から心のこもった送辞、卒業生代表からは同級生との思い出やお世話になった方々への感謝の気持ちなど、3年間の想いが込められた答辞がありました。

また、今年の式歌は、まず、「see you again」を合唱しました。コロナ禍を経て、実に5年ぶりの生徒全員による合唱でした。30年以上前から本校の卒業式で歌われている歴史ある名曲を、やっと全校生徒で合唱ができたことに感激もひとしおです。

そして、卒業生による式歌合唱は「3月9日」でした。歌詞にあるように「瞳をとじたとき、まぶたにいる人たち」への想いを込めた素晴らしい合唱となって、大変感動しました。



学校長式辞の一部を紹介します。

卒業にあたり、私からは2つの話をさせていただきます。

1つ目は、達成感についてです。

以前、人生は山登りに例えることができると皆さんにお話したことがあります。夢や目

標を山の頂上に例えるとすれば、達成感とは頂上にやっとの思いで立った時に得られる感動のようなものだと思います。高い山や登るのが難しい山ほど、頂上に立ったときの達成感は大くなるものです。富士山を散歩のついでに登った人はいない。富士山に登ろうと決めた人だけが登れた、とも言いましたが、人生の中でその都度、夢や目標を決めて、一步一步頂上をめざしてほしいと思います。



ただ、夢や目標はどんなに努力してもすぐには達成しません。そこで、日々の生活の中で小さな達成感を得ることも大切だと思います。

毎日をなんとなく過ごすのではなく、また、誰かに何かをやらされているのではなく、小さなことでも自分でやり遂げる何かを決め、それが達成できるように日々を過ごして日常生活を充実させてほしいと思います。

2つ目は、私の教え子の話です。私はこれまでたくさんの生徒たちと関わってきましたが、特にある1人の生徒のことは今も忘れられません。

彼女が3年生のときに私が学級担任をしました。いつも朗らかで、決して他人の悪口を言わない、誰からも好かれる生徒でした。

卒業後もときどき中学校に顔を出していて、いよいよ高校を卒業する2週間前にも卒業後の進路の報告に来ました。美容師の専門学校に行くと言って、美容師になったら先生の髪も切ってあげるねとか話していたのを思い出します。

そんな彼女が、それから1週間後、高校の卒業式の僅か5日前、交通事故で亡くなったのです。突然の訃報に本当に驚きました。

お通夜にもお葬式にもたくさんの友達が参列しました。その中で中学時代の仲良したちが、お通夜ではわんわん泣いていたのに、翌日のお葬式ではニコニコ笑顔でいるのです。話しかけてみると、明るい彼女を送り出すのに涙は似合わない。笑顔で送り出そうと決めたとのことでした。そして、私たちは彼女の分まで自分の人生を精一杯生きることを誓いました。

若い皆さんには死は身近ではありません。来年も再来年も当然やってきます。高校生活は楽しみです。大人になったとき、自分がどんな職業に就くのか楽しみです。しかし、未来は確約されているわけではありません。突然、どのような形で人生を終えるかもわかりません。だからこそ、今を一生懸命に生きたいと思うのです。

18歳で亡くなった彼女をとてかわいそうだと思います。しかし、若くして人生を終えた彼女をかわいそうとは思いますが、不幸せな人生だったとは思いたくないのです。彼女は一生懸命に生き、皆に愛された。幸せな人生だったと思います。そして、まさに人生の価値は、生きた時間の長さではなく、その使い方で決まると私は思うのです。

どうか、皆さん、今を一生懸命に生きてください。何かに頑張って、自分の頂上をめざし、たくさんの達成感を味わい、充実した人生を送ってください。